

広島県立福山特別支援学校版「学びの変革 アクション・プラン」の概要

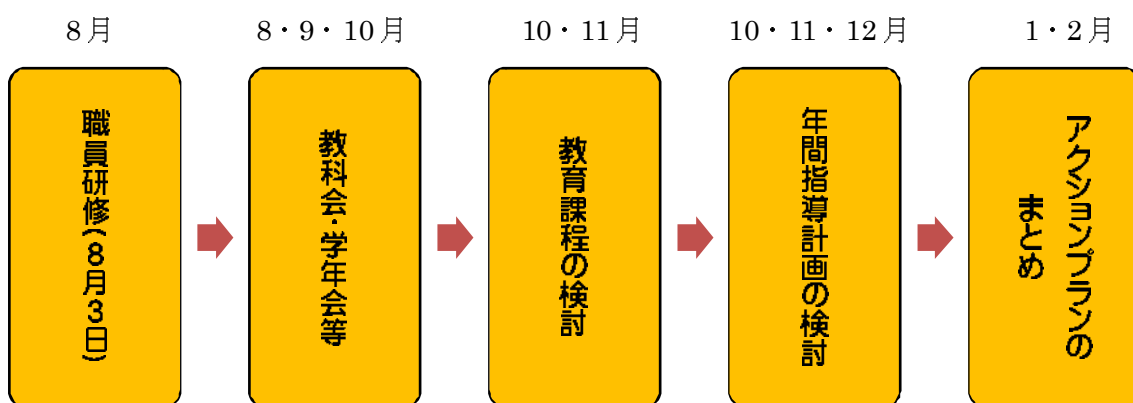
目指す児童生徒像の実現のために、各学部・学年・分掌等が相互に連携しあい、「主体的な学び」の視点で取組を進めている

学びの変革プロジェクト会議の概要

「本校における主体的な学びとは何か」「本校の育成すべき資質能力など」討議・検討を行い、福山特別支援学校独自のアクション・プランを進める。

本校の育てたい資質・能力を類型ごとに提示するとともに、教科会・学年会などグループで会議を行い、教育課程・年間指導計画の見直し等、カリキュラムマネジメントを組織的に推進していく。

今後のタイムスケジュール(教務部)



職員研修(8月3日)の目的

新学習指導要領を踏まえ、以下の三つの資質能力(①知識・技能②思考力・判断力・表現力等③学びに向かう力、人間性等)をバランスよく取り入れた授業目標の設定・指導内容の見直しについてグループで検討を行う

1. テーマ

新学習指導要領に沿った活動～主体的な学びを引き出す目標設定

配布資料

パワーポイント資料(学習指導要領説明資料)

2. 研修の流れ

研修時間 9:00～10:30

場所 本校体育館

①新学習指導要領説明(パワーポイント)

学習指導要領、育成すべき資質能力(三つの柱)の整理

②個人ワーク

○新学習指導要領で計画を立てるならどのような活動をするなどの意見を付箋に書き出す。

○年間指導計画 生活活動のある単元に注目し、三つの柱

(①知識・技能②思考・判断・表現③学習に向かう力)に分類する。

③グループワーク

お互いの意見を出し合いながら、新学習指導要領で年間指導計画を立てる場合の活動をまとめる。

模造紙へその単元の計画を書き込む

3. グループワークの結果分析

グループワークでは、8グループに分かれ、新学習指導要領による学習内容で目標設定した際に現行の学習指導要領とどのように変わるのかをポイントに研修を行いました。グループによっては三つの柱にバランスよく付箋がついているところもあったが、全体として「学びに向かう力、人間性等の資質能力」についての意見が他の2つの資質能力に比べて少なかった。

学びに向かう力、人間性等の資質・能力をつけさせることは容易ではないが、授業目標の設定・指導内容を計画する段階で、興味関心を持たせる取組みや教材づくりが必要であることが分かった。

今後の予定

主体的な学びを実現させるため、教務部を中心として、教科会等を適宜開催し、組織的かつ計画的に教育課程・年間指導計画の見直し・作成を行い、カリキュラムマネジメントを推進していく。

〈研修風景〉



〈キャプション〉

